

# 徳島県立二十一世紀館協議会 会議録

1 日 時 令和元年9月27日(金) 10:30 ~ 12:00

2 場 所 二十一世紀館会議室

3 出席者

【委 員】 10名中8名出席

井上 郁代委員, 上島 秀幸委員, 郡 美都委員, 佐野 雅彦委員,  
千葉 さやか委員, 中村 真由美委員, 中山 昌子委員, 西川 敬子委員

【二十一世紀館】

館長ほか, 館員7名

4 会議次第

1 開 会

2 二十一世紀館事務局挨拶

3 議 題

(1) 平成30年度事業実績について

(2) 令和元年度事業計画について

(3) 提言等反映状況について

(4) その他

5 閉 会

議事① 平成30年度事業実績について

議事② 令和元年度事業概要について

事務局

(資料に基づき説明)

委員

9月22日(日)、トワイライトジャズが実施されたが、当日は台風17号の接近していたため、開催されるかどうか心配だった。他のイベントでも、自然災害が予想される場合は、イベントの中止や閉館の対策が考えられるが、その判断をするための指針はあるのか。

事務局

基本的に、危険が迫っている状況であれば、原則イベントを中止し、全館閉館する立場で進めている。徳島県は、気象庁等と連携して、非常時に対策本部を立ち上げ、リアルタイムで情報収集をする組織態勢になっている。その種類は、準備する段階、予告する段階、避難を求める段階の3つの段階によって異なり、いつ、どの本部が設置されるかは事前に知らされる。文化の森では、避難を求める段階の本部が設置されることが知らされた時点で、危険が迫っていると想定し、中止と閉館を進めていく。

ただ、この建物は、博物館や美術館もある頑丈な建物であり、荒天で公園で遊べない時などに、親子連れで来館することが実際にある施設。そのため、台風が直撃するというのが明らかでない限り、直ちに中止ということはずせず、情報を見ながら判断している。今回の台風17号に関しては、台風が逸れるという情報が入っていたため、情報を随時確認し、最終的に実施するという決断をした。

委員

パソコン講座についてだが、受講者は多いか。また、募集方法や周知の方法を教えてほしい。

事務局

講座には、「ワープロ入門講座」、「表計算入門講座」、「デジカメ画像入門講座」、「プレゼン入門」の4種類ある。定員は20名だが、30名が受けることもあれば、定員を下回ることもある。一年を通してみると、受講者数は多い。広報については、ホームページや県庁便りに案内を掲載し、講座のパンフレットを作成・配布している。

委員

イベントを映像で残したりはしていないのか。後から見たいという利用者の要望に応えたり、ケーブルテレビで後日放送するなどの活用方法が考えられる。もちろん、来場して見てもらうのが一番いいが、都合で当日来ることができない人もいるため、コスト面の問題も考えられるが、一部だけでも導入はできないものか。

事務局

自主事業については、全てのイベントで静止画を撮影し、動画も一部撮影し

ているが、限られた人員であり、放送・配信のための撮影は難しい。

特に大きなイベントについては、業者等に依頼して最初から最後まで撮影することもある。昨年度だと、創作ミュージカル「藍より出ずる」において撮影を行い、後日DVDの作成やホームページでの一部公開を実施している。

委 員 次回の協議会の時で構わないので、そういう記録や公開の実績を記載してほしい。撮影した動画を、館内で視聴することはできるのか。

事務局 館内視聴用に編集するまでには至っておらず、ホームページにおいて部分的な公開で留まっている。

委 員 編集をしなくても、固定カメラを設置し、撮影した映像をそのまま流すことはできないか。映像を流すことが、新たに見に来ていただくきっかけになると思う。また、撮影の度にカメラを設置するのではなく、撮影用の固定カメラを新たに常設してはどうか。

事務局 映像公開については、来場者や出演者の肖像権、使用した著作物の著作権にも配慮する必要があるが、できるだけ対応するよう検討して参りたい。

### 議事③ 提言等反映状況について

事務局 (資料に基づき説明)

委 員 情報発信（SNS）の対応状況を知りたい。

事務局 写真を撮りたくなる場所についての対応である。基本的には、屋外の公園部分が文化の森として特徴的だと考えている。内部については、美術品著作権などの関係があるため、撮影可能な場所が限られてくる。屋外だと、イベント中のすだちくん森のシアターが綺麗だが、それ以外だと、LEDアートが特徴的な場所である。若年層の来園者数増加のため、今年度は、秋期の点灯時間を従来より1時間早め、午後6時より点灯することとした。看板についても、来園者ができるだけ撮影しやすいよう、外にできるだけ出していくという取扱をしている。

委 員 LEDアートの横を通ると、音が鳴るが、その音量が大きい。その音量を小さくしてもらえないか。

事務局 LEDアートについては色の付き方、ライトの角度、音量、音の内容なども含めて、制作者に著作権があるため、要望はするが、こちらの一存で変更することはできない。

委員 市バスを増便してくれたのは良かった。運転をしない高齢者にとっては、歩いて来るのも難しいため、非常にありがたいなと思っている。

委員 協議会に来る前に、公園内を歩いていたが、多くの方が利用していた。ある利用者から、奥の駐車場の上辺りにある展望台の話があったが、以前は見晴らしがよく、眉山や園瀬川がよく見えたが、最近は木々が伸びてきて、見晴らしが良くないそうである。桜以外の木を、可能なら切ってもらえないかとのことであった。

事務局 公園部分については都市公園であり、文化の森ではなく県土整備部が所管しているため、そういう御意見があったことを担当課に伝えておく。

#### 議事④ その他

委員 年報（案）19ページに来館者数が掲載されているが、どの曜日が多いか統計を作成することは可能か。

事務局 来館者数の集計は毎日行っており、データを持っているため、時間をかければ分析することはできる。ただ、来館者数は、博物館や美術館などの展示内容で大きく上下するため、分析や公表はしていない。曜日別の来館者数については、土日祝日はもちろん多いが、平日であれば、最近は展示の公開日を金曜日に設定することが多いため、金曜日が多いのではないかと考えている。

委員 それを知っているのは館内職員のみで、我々や来園者は知らない。公開するかどうかは別として、データがあるのなら、負担にならない範囲で分析・集計し、常設展の運営などの参考にしてみてもどうか。

委員 休館日明けの来館者数は知りたい。金曜日や土日祝日が多いことは分かるが、休館日明けの動向が把握できれば、見えてくるものがあるのではないか。

事務局 データの分析・活用については、今後検討して参りたい。

委員 座布団を貸出しているとのことであるが、経年劣化するのではないか。貸出用品については厳しい意見を持っている方が多い印象があるが、どのような状況か。

事務局 昨年の協議会の提言などを受けて、直ちに600枚購入し、能楽の時に初めて貸出をした。使用者には喜んでいただけただけと思っているが、返却いただけなかった座布団もあり、1割ほど目減りした。

配布している座布団は、ミュージアムショップにて150円で販売している三つ折りマットであり、それを簡易座布団として貸出している。消耗品であり、

クッションなどが経年劣化をするため、定期的買い換えていく必要があると思われる。

委員 実物を見たことがなかったので気になった。

委員 貸出料として、100円を設定してみてはどうか。

事務局 金銭管理の問題や、県の会計手続上の課題がある。信頼関係に基づき、無料で気持ちよく使っていただき、自主的に返却してほしいと考えている。

委員 来館者数について、夏休みがすごく多いのに対して、春休みのある3月や4月が少ないのが気になった。春休みは平均して来館者数が少ないのかどうかを分析してほしい。

映画については、県内の映画館が減ってきているため、無料で上映していただけるのはすごく助かるが、内容をどのように選んでいるのか教えてほしい。

事務局 毎回、来館者にアンケートを取っており、その内容を参考に決めている。映画には上映権という権利があり、その関係で要望に添えないことも多いが、できるだけ実現するように努めている。今年度は、時代劇やアニメ、ミュージカルなど、様々なジャンルの映画を上映予定である。

委員 昨年初めて、音楽のイベントですだちくん森のシアターを利用したが、思ったよりずっと音響が良く、野外でするのも良いと思った。ただ、楽屋が狭い、搬入口から遠い、通路が狭く他の利用者とぶつかったり、楽器を運ぶ際に迷惑をかけたりのなど、構造上の問題があるように思えた。早急に解決する問題ではないが、今後も利用したいと思う良い施設であるため、改善をお願いしたい。

事務局 すぐに改修することは難しいが、今後の検討課題としたい。